

南臺科技大學 106 學年度第 2 學期課程資訊

課程代碼	E0N09L02
課程中文名稱	日文習作(二)(B)
課程英文名稱	Japanese writing II
學分數	3.0
必選修	管制必修
開課班級	夜四技日語三甲
任課教師	桑澤悟史
上課教室(時間)	週二第 12 節(T0211) 週二第 13 節(T0211) 週二第 14 節(T0211)
課程時數	3
實習時數	0
授課語言 1	日語
授課語言 2	
輔導考照 1	
輔導考照 2	
課程概述	A 組:本課程は、日本語中級レベルの作文トレーニングのための授業です。 B 組:本課程は、日本語中級～上級レベルの作文トレーニングのための授業です。 C.D 組:本課程は、日本語中級～上級レベルの作文トレーニングのための授業です。
先修科目或預備能力	A 組:日本語能力試験 N4～N3 B 組:日本語能力試験 N3～N2 C.D 組:日本語能力試験 N3～N2
課程學習目標與核心能力之對應	※編號，中文課程學習目標，英文課程學習目標，對應系指標 ----- 1.図を視て的確に状況を説明し、登場人物の心理を描写できるようにする。 , --, 10 人文藝術 2.自身の経験を、5W 1H に注意しながら的確に描写し、説明できるようにする。 , --, 3 翻譯實務 3.自分の好きな作品(映画、小説 etc)の内容を簡潔・適切に説明し、感想を書く。 , --, 4 報告溝通 4.最近のニュースを要約し、他人の意見を引用しながら意見を書けるようにする。 , --, 9 適應社會 5.「敬体」「常体」の使い分けを習得し、適切な文体で文章をかけるようにする。 , --, 1 日語應用 6.原稿用紙の使い方(縦書き・横書き)を習得する。 , --, 1 日語應用

	7.自分の書いた文章の間違ひを見つけて、修正する能力を習得する。、--、5 辨識構思																											
中文課程大綱	<p>A組:本課程は、日本語中級レベルの作文トレーニングのための授業です。受講生は、これまでに学習した日本語の文型や語彙などを正確に用いて、身近なことを書くことから始めます。具体的には、上記のテーマに沿って400字程度（あるいはそれ以上）の文章を書く練習を行います。教師による添削指導なども行いますが、なるべく自身で修正できるようにします。その他、文字表記のルールやコンピュータでの日本語入力などについても学習・練習します。</p> <p>B組:本課程は、日本語中上級レベルの作文トレーニングのための授業です。受講生は、これまでに学習した日本語の文型や語彙などを正確に用いて、自身の関心のあることについての意見、状況や心理などの説明、目的に応じた内容などを、複数の段落を用いて書く練習を行います。教師による添削指導なども行いますが、なるべく自身で修正できるようにします。その他、文字表記のルール、レポートや論文の形式、コンピュータでの日本語入力などについても学習・練習します。</p> <p>C.D組:本課程は、日本語の中上級レベルの作文トレーニングのための授業です。受講生は、これまで学習した日本語の初級・中級の文型や語彙、表現などを正確に用いて、自身の関心のあることについての説明や意見、状況や心理などの描写・説明、目的に応じた内容などを、複数の段落などの構成を意識しながら書く練習を行います。教師による添削指導なども行いますが、なるべく自身で修正できるようにします。その他、文字表記のルール、レポートや論文の形式、コンピュータでの日本語入力などについても学習・練習します。</p>																											
英/日文課程大綱																												
課程進度表	<p>授業目的</p> <p>初級～中級レベル以上の能力の獲得を目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のアイデアや考えを論理的に書けるようにする。 ・重要な個所を、簡潔にまとめて書けるようにする。 <p>進度表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>週</th> <th>授業進度</th> <th>小テスト類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1週</td> <td>2月27日</td> <td>1・社会に望むこと</td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>3月6日</td> <td>1・社会に望むこと</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>3月13日</td> <td>2・企画書を書こう 1・の作文提出（第一回）</td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td>3月20日</td> <td>2・企画書を書こう 1・の作文提出（第二回）</td> </tr> <tr> <td>第5週</td> <td>3月27日</td> <td>2・企画書を書こう</td> </tr> <tr> <td>第6週</td> <td>4月3日</td> <td>3・注文書を書く 2・の作文提出（第一回）</td> </tr> <tr> <td>第7週</td> <td>4月10日</td> <td>3・注文書を書く 2・の作文提出（第二回）</td> </tr> <tr> <td>第8週</td> <td>4月17日</td> <td>3・注文書を書く</td> </tr> </tbody> </table>	週	授業進度	小テスト類	第1週	2月27日	1・社会に望むこと	第2週	3月6日	1・社会に望むこと	第3週	3月13日	2・企画書を書こう 1・の作文提出（第一回）	第4週	3月20日	2・企画書を書こう 1・の作文提出（第二回）	第5週	3月27日	2・企画書を書こう	第6週	4月3日	3・注文書を書く 2・の作文提出（第一回）	第7週	4月10日	3・注文書を書く 2・の作文提出（第二回）	第8週	4月17日	3・注文書を書く
週	授業進度	小テスト類																										
第1週	2月27日	1・社会に望むこと																										
第2週	3月6日	1・社会に望むこと																										
第3週	3月13日	2・企画書を書こう 1・の作文提出（第一回）																										
第4週	3月20日	2・企画書を書こう 1・の作文提出（第二回）																										
第5週	3月27日	2・企画書を書こう																										
第6週	4月3日	3・注文書を書く 2・の作文提出（第一回）																										
第7週	4月10日	3・注文書を書く 2・の作文提出（第二回）																										
第8週	4月17日	3・注文書を書く																										

	<p>第9週 4月24日 期中考+3・の作文提出</p> <p>第10週 5月1日 期中考フィードバック</p> <p>4・見積もり書を書く 期中考返却</p> <p>第11週 5月8日 4・見積もり書を書く</p> <p>第12週 5月15日 4・見積もり書を書く 4・の作文提出(第一回)</p> <p>第13週 5月22日 5・依頼状を書こう 4・の作文提出(第二回)</p> <p>第14週 5月29日 5・依頼状を書こう</p> <p>第15週 6月5日 5・依頼状を書こう</p> <p>第16週 6月12日 6・お知らせ・招待状を書こう 5・の作文提出(第一回)</p> <p>第17週 6月19日 6・お知らせ・招待状を書こう 5・の作文提出(第二回)</p> <p>第18週 6月26日 期末考+6・の作文提出</p> <p>※これは予定であり、何らかの事情で変更する可能性もあります。</p> <p>教科書 なし</p> <p>授業形態 教科書+補助プリント</p> <p>たくさん作文練習をします。</p> <p>宿題 各課関連の作文を書いてもらい、提出してもらいます。</p> <p>中間・期末試験 作文試験です。詳しいことは、試験が近づいてきたときにお伝えします。</p>
<p>教學方式與評量方法</p>	<p>※課程學習目標，教學方式，評量方式</p> <p>-----</p> <p>図を見て的確に状況を説明し、登場人物の心理を描写できるようにする。、 課堂講授實作演練，其他、出席小考作文、筆試筆試</p> <p>自身の経験を、5W1Hに注意しながら的確に描写し、説明できるように する。、課堂講授實作演練，其他、出席小考作文、筆試筆試</p> <p>自分の好きな作品(映画、小説 etc)の内容を簡潔・適切に説明し、感想を 書く。、課堂講授實作演練，其他、出席小考作文、筆試筆試</p> <p>最近のニュースを要約し、他人の意見を引用しながら意見を書けるように する。、課堂講授實作演練，其他、出席小考作文、筆試筆試</p> <p>「敬体」「常体」の使い分けを習得し、適切な文体で文章をかけるように する。、實作演練課堂講授，其他、出席小考作文、筆試筆試</p> <p>原稿用紙の使い方(縦書き・横書き)を習得する。、課堂講授實作演練，其 他、出席小考作文、筆試筆試</p> <p>自分の書いた文章の間違いを見つけて、修正する能力を習得する。、課堂 講授實作演練，其他、出席小考作文、筆試筆試</p>

指定用書	書名： 作者： 書局： 年份： ISBN： 版本：
參考書籍	
教學軟體	
課程規範	<p>評価基準</p> <p>100% = 平常点30% (出席10%・作文20%) + 中間試験30% + 期末試験40%</p>